

【構造及び計画】

科目		授業科目		単位数	学年別計画時期		
				時間数	1年	2年	3年
人 体 の 構 造 と 機 能	解剖生理学Ⅰ	人体の構造・人体の防御機能		1(30)	1(30)		
		内臓機能の調節、栄養代謝・内分泌					
	解剖生理学Ⅱ	1	呼吸器系の構造と機能	1(30)	1(30)		
		2	循環器系の構造と機能				
	解剖生理学Ⅲ	1	消化器系の構造と機能 血液の循環とその調節	1(15)	1(15)		
	解剖生理学Ⅳ	1	骨・筋・皮膚の構造と機能	1(30)	1(30)		
		2	感覚器の構造と機能・皮膚				
		3	脳神経の構造と働き				
	栄養学	1	生化学	2(45)	2(45)		
		2	栄養学				
		計	6(150)	6(150)			
疾 病 の 成 り 立 ち と 回 復 の 促 進	病理学Ⅰ		総論	1(30)	1(30)		
	病理学Ⅱ	1	呼吸器疾患の病態・治療検査	2(45)	2(45)		
		2	循環器疾患・腎疾患				
		3	泌尿器・男性生殖器疾患				
	病理学Ⅲ	1	消化器疾患・アレルギー・膠原病	2(45)	2(45)		
		2	内分泌・代謝疾患・血液造血器				
		3	女性生殖器疾患				
	病理学Ⅳ	1	運動器疾患	1(30)	1(30)		
		2	脳神経疾患				
	病理学Ⅴ	1	皮膚疾患	1(30)			1(30)
		2	耳鼻咽喉疾患				
		3	眼疾患				
	病理学Ⅵ	1	臨床外科総論・臨床外科各論	1(30)	1(30)		
	微生物学		1(30)	1(30)			
	薬理学		1(30)	1(30)			
		計	10(270)	9(240)		1(30)	
健 社 康 会 支 保 援 障 と 制 度	保健医療論			1(15)	1(15)		
	社会福祉			2(30)		2(30)	
	関係法規			2(30)		2(30)	
	公衆衛生学			1(15)			1(15)
			計	6(90)	1(15)	4(60)	1(15)
		合計	22(510)	16(405)	4(60)	2(45)	

【教育内容】

人体の構造と機能 6単位（150時間）

授業科目：解剖生理学Ⅰ：1単位30時間：血液の循環とその調節、内臓機能の調整、外部環境の防御
体温調節

解剖生理学Ⅱ：1単位30時間：呼吸器・循環器系の構造と機能

解剖生理学Ⅲ：1単位15時間：消化器系の構造と機能

解剖生理学Ⅳ：1単位30時間：骨・筋・皮膚の構造と機能、感覚器の構造と機能
皮膚・脳神経の働き

栄養学：2単位45時間：生化学・栄養学

科目目標：1. 人間の生物体、統一体としてとらえるために、人体の構造と機能を系統的に学び、
有機的に機能する人体を理解する。

2. 生態を構成する物質各々の代謝及び人間にとっての栄養の意義を理解する。

疾病の成り立ちと回復の促進 10単位（270時間）

授業科目：病理学Ⅰ：1単位30時間：総論

病理学Ⅱ：2単位45時間：呼吸器・循環器・腎・泌尿器・男性生殖器の疾患

病理学Ⅲ：2単位45時間：消化器・アレルギー・膠原病・内分泌代謝・血液造血器
女性生殖器疾患

病理学Ⅳ：1単位30時間：運動器・脳神経疾患

病理学Ⅴ：1単位30時間：皮膚・耳鼻咽喉・眼疾患

病理学Ⅵ：1単位30時間：臨床外科総論・臨床外科各論

微生物学：1単位30時間：

薬理学：1単位30時間

科目目標：1. 各疾患の病因・病変の特徴、さらに疾患の特徴、治療、検査について理解する。

2. 外科的療法の基本的な知識を理解する。

3. 感染症や伝染病の要因として、重要な位置を占める病原微生物の分類や特徴を理解する。

4. 薬物の特徴、作用の機序、人体への影響、及び薬物管理を理解し、薬物の臨床応用における基本的内容を理解する。

健康支援と社会保障制度6単位（90時間）

授業科目 : 保健医療論 : 1単位15時間
: 社会福祉 : 2単位30時間
: 関係法規 : 2単位30時間
: 公衆衛生 : 1単位15時間

科目目標 : 1. 現代の保健、医療、福祉の抱えている問題とその問題発生背景を知り、今後の保健医療の在り方を理解する。
2. 社会福祉の概念とその制度体系、実践方法を学び、医療と福祉の関連を理解する。
3. 保健医療領域に関連のある法規を学び、専門職業人としての看護の役割及び責任を理解する。
4. 公衆衛生の動向と地域社会における組織的な保健活動を理解する。